

インドネシア国

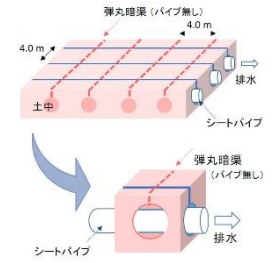
農業生産性向上のためのシートパイプシステム導入に関する案件化調査

企業・サイト概要

- 提案企業: 協和建設工業株式会社
- 提案企業所在地: 山口県萩市
- C/P機関: 農業省農業研究開発庁 (IAARD)
- サイト: 西ジャワ州スバン県スカマンディー地区



シートパイプ (右: 成形前、左: 成形後)



シートパイプ敷設イメージ

インドネシア国の開発課題

- 食糧安全保障
(人口増加による米の需要拡大と、都市化による農地の減少に伴う米の生産量減少)
- 農地の排水不良による米の生産性、品質の低下
- 農業従事者と非農業従事者間の産業間所得格差

中小企業の技術・製品

シートパイプシステム: 専用の排水管 (= シートパイプ) を農地に水平に非開削による土中引込みにより敷設し、排水を管理し、地中へ空気を供給する。

- 安価に短工期で、農地の排水不良の改善により米の生産性向上
- 排水管理により気候環境に応じた農地の計画的な管理を可能とし、安定的な米の生産量を確保
- 適正な農地管理 (灌水、排水、作業地盤) で耕作物の品質を向上

調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

米の増収効果及び品質向上効果を実証し、日伊両国の産官学連携により、インドネシア農業に適したシステムに研究開発する。

- 米の多期作・多毛作の実現による農作物の多様化、気候変動による収穫量変動の緩和と品質向上による安定した農業所得を得ることを可能とし、非農業従事者との所得格差の是正に大きく貢献できる。
- 排水不良の水田の排水改善を進めることで、豊富な農業従事者と既存農業機械の有効活用にもつながり、農業機械化の促進による効率性の高い営農で生産量を増大させることが可能となる。

日本の中小企業のビジネス展開

- 産官学連携 (日本国内での産官学連携とインドネシア国内での産官学連携の国際的ネットワークによる連携) を構築し、インドネシア方式のシートパイプシステムをインドネシア公共事業の農業インフラ整備技術として普及展開する。
- 現地販売代理店 (パートナー) の育成によるインドネシア国内販売ネットワーク構築と技術指導による技術移転を図る。
- 資機材の現地調達および生産化とシステム改善によりコストを低減し、普及拡大させる。